

適用は ☒ 印を記入する。

3. 地 業

- (1) 地盤調査資料
☒有 ☐敷地内 ☐近隣 ☐ボーリング調査 ☒サウンディング試験 ☐水平地盤反力係数の測定
☐無 ☐調査予定 ☐有 ☐無
- (2) 地盤調査計画
☐ボーリング調査 ☐動的貫入試験 ☐標準貫入試験 ☐水平地盤反力係数の測定
☐土質試験 ☐物理探査 ☐平板載荷試験 ☒サウンディング試験
- (3) 地盤調査及び試験結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

(1) 直接基礎 ☒ベタ基礎 ☐布基礎 ☐独立基礎 ☐備考試験掘 ☐有 ☒無
 載荷試験 ☐有 ☒無

- (2) 杭基礎 支持層— G. L— m

- (2) 杭基礎 支持層— G. L— m

杭仕様 ☐ 施工計画書承認 ☐ 杭施工結果報告書
試験杭 (☐ 有 ☐ 無) (☐ 打ち込み ☐ 載荷) 本

- | 杭 径(mm) | 設計支持力(KN) | 杭の先端深さ(m) | 本 数 | 特記事項 |
|---------|-----------|-----------|-----|------|
|---------|-----------|-----------|-----|------|

(3) 地盤改良 支持層 Z. 0~3.00m
柱狀型地盤改良 F C600kN/m² φ 600mm

- 二、训练一、今日、上、下、事

鉄筋

- 鉄筋は J I S G 3 1 1 2 の規格品を標準とする。
- 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「6. 鉄筋加工・かぶり」による。
- D19未満は、すべて重ね継手とする。継手（D19以上）をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
- ☐ ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと（200箇所を超えときは、200箇所ごと）に1回行い、1回の試験は5本以上とする。
- 外観検査 ☐有 ☐無、 引張り試験 ☐有 ☐無、 超音波探傷試験 ☐有 ☐無
- 柱の帯筋（H00P）の加工方法は、☒H型（タガ型）☐W型（溶接型）☐S型（スパイラル型）とする。
- ☐ コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱い要綱」第4条の試験機関で行うこと。

- 試験機関名
代行業者名
代行業者とは、試験、検査に伴う業務を代行する者を言う。

- (3) 型 枠
- 材料 合板厚 12mmを標準とする。
- 型枠存置期間

注) 1 片持はり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。

注) 2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。

注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。

注) 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。





注) 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。
一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。

注) 6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する

(2) 記号

d…異形鉄鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D…部材の成 R…直径
d…間隔 r…半径 C…中心線 L0…部材間の内法距離 h0…部材間の内法高さ
S T…あばら筋 H O O P…帯筋 S, H O O P…補強帯筋 ϕ …直径又は丸鋼

- | (3) 鉄筋末端部の折曲げの形状 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 折曲げ角度 | 180° | 135° | 90° | 折曲げ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込み形をより形をのキヤッタイにのみ用いる
 キヤッタイ |
| 図 |  |  |  | |
| 鉄筋の余長 | 4 d 以上 | 6 d 以上
(※ 4 d 以上) | 8 d 以上
(※ 4 d 以上) | |
| 折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上 | | | | |
| | | | | ※片持ちスラブ上端部の先端 |

- | (4) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90° 以下 | | | | |
|---|--------------|--------|------------------------|-----------------|
| 図 | 鉄筋の使用箇所による呼称 | 鉄筋の種類 | 鉄筋の径による区分 | 鉄筋の折り曲げ内のり寸法(R) |
|  | 帯筋 | SR235 | 16φ 以下 | 3 d 以上 |
| | あばら筋 | SD295A | D16 | |
| | スパイラル筋 | SD295B | 19φ 以上 | 4 d 以上 |
| | | SD345 | D19 | |
|  | 上記以外の鉄筋 | SR235 | 16φ 以下 | 6 d 以上 |
| | | SD295A | 19φ ~ 25φ | |
| | | SD295B | D19 ~ D25 | 8 d 以上 |
| | | SD345 | 28φ ~ 32φ
D29 ~ D38 | |

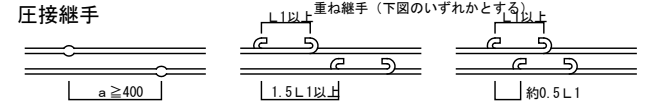
- (5) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

継手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋筋の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

継手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、圧接継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状¹⁾

- (6) かぶり厚さ (単位: mm)
ひびわれ誘発目地など鉄筋のかぶり、
厚さが部分的に減少する箇所についても
最小かぶり厚さを確保する。

(注) (1) 耐久性上有効な仕上がりがある場合、工事監理者の承認を受ける40mmとすることができ、

(2) 耐久性上有効な仕上がりがある場合、工事監理者の承認を受ける40mmとすることができ、

(3) コンクリートの品質及び施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができ、


(4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。

(5) ()内は仕上がりがある場合、
改定により標準より厚さは10mm増し

- (7) 鉄筋のあき


- 丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5 d 以上
祖骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

- (9) 鉄筋の引き出し

- (8) 鉄筋のフック (a~f) に示す鉄筋の末端部にはフックをつける
- a. 丸鋼 b. あばら筋、帯筋 c. 煙突の鉄筋
- d. 柱、梁 (基礎梁は除く) の出す部分の鉄筋 (右図参照)
- e. 単純梁の下端筋
- f. その他、本配筋標準に記載する箇所
- 梁
- 

- 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得る。
- 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
- 床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を5cm以上とする。

- ## 8. その他
- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
 - 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
 - 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
 - 外壁のうち、軸組が腐りやすい構造である部分の下地構造耐力上主要な部分である部材の地面から一メートル以内の部分の防湿又は防蟻措置すること。
 - 垂直積雪量 100.0cm (多雪区域において積雪量1.2mですが、屋根の雪下ろし低減により積雪量を0.単位荷重 30.0N/cm²)

担当者：1級建築士 第264277号 近山 富貴		 一般建築士事務所 株式 会社 堤 建築設計事務所 〒951-8062 新潟市中央区西堀南通二番町715番地 TEL 025-222-6509 FAX 025-229-1702 E-mail: tutumi-a@pearl.ocn.ne.jp 管理建築士 1級建築士登録第125015号 野沢 進行		設計番号 1711 作成年月日 2017/07/31 工事名称 おもてなし広場農産物加工施設・配送施設整備建設工事 図面名称 構造設計標準仕様書・コンクリート標準仕様書 管理技術者 野沢 主 任 技術者 近山 作 成 朝妻 担当者 野沢 技術者		区分 実施設計 縮尺 ——— 意 (構) 外 電 機		図面番号 S-01	
--------------------------	--	--	--	--	--	-------------------------------------	--	-----------	--